

練習問題（第8回）

図1はヒープを配列と2分木の両方で表現した例である。

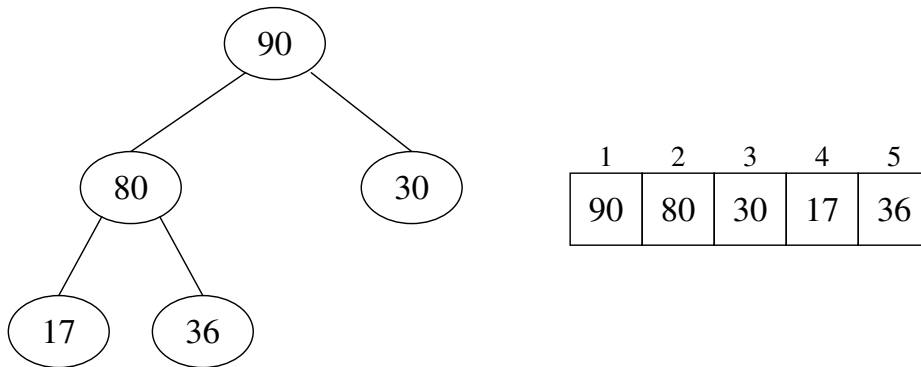


図1 ヒープを配列と2分木で表した例

問1.

図1の状態にあるヒープに対し、2つの数値データ“25”と“40”を順に追加した後の状態を示せ。ただし、図示するのは配列のイメージ図だけでよい。なお、配列長の上限は考慮しなくてよい。

問2.

問1の操作（データを2つ追加）を実行した後の状態を考える。そのヒープから最大値（根に対応）を取り出した（削除した）後の状態を示せ。ただし、図示するのは配列のイメージ図だけでよい。